

議案と討論

賛成 反対

第1回定例会で審議され、討論が行われた議案名と議決の結果、討論部分の趣旨をお伝えします。今回は30年度予算について多くの討論がありました。討論は、表決の前に賛成・反対の意見を表明し、自らの考えに賛同する者を得ようとするものです。議案には、主に予算案・条例改正案・人事案件等、市長が提出するもののほか、議員が提出するもの(意見書案等)があります。

30年度一般会計予算 可決

遠山議員：歳入面では、地方経済と市民の暮らしを守る自治体として、地場産業優先への転換が求められる。財政規律なき過大開発への地方債発行は慎重であるべき。歳出面では、定住化促進の予算約5000万円に対し、市営住宅予算は半分以下で格差社会の現れ。保育問題は思い切った処遇改善で待機児童ゼロを。国の政策が地方自治体に大きな影響を与えている。福祉サービス後退や社会保険料は家計の大きな負担。反対。

佐藤(隆)議員：高齢化率が進む中、「スマートウェルネスとりで」を掲げ、健康・幸せづくりの取り組みにより介護認定率は全国平均より5%以上低い。素晴

らしい施策。また、人口増のため効果を上げている定住化促進事業やシティブロモーション事業も継続して予算計上されている。賛成。

齋藤議員：産婦健診や産後ケア事業の継続は社会状況の変化でデリケートな問題を抱える母親に寄り添った施策。乳がんチェックシート配布、生活習慣病対策の取り組み等、健康の分野にも予算計上。職員のLGBT(4ページ3段目参照)研修で配慮が行き届く市民対応につなげてもらいたい。賛成。

吉田議員：井野団地外周道路整備事業等、新規路線を含む12地区の道路改良工事や6地区の雨水排水対策事業は、市民が安全で安心して暮らせる町づくりの推進として高く評価。賛成。

岩澤議員：小中学校防犯カ

メラ設置事業は、児童生徒の見守りや、器物損壊等の犯罪抑止につながる。5月30日に開催されるチャレンジデーは、健康づくり、スポーツ振興、コミュニケーションづくりの一環となる。注目されるPRを。賛成。

関川議員：旧取手一中跡地を活用した井野なないろ保育所・子育て支援センター新築事業は、公共施設跡地が次世代への重要な投資に使われる大変素晴らしいこと。子どもたちが将来、取手で育って良かったと思える保育所になることを期待。賛成。

細谷議員：平成30年度はITを活用した勤休システムが、全庁と教育委員会で導入される。職員・教員の健康と働き方や住民サービス

にも大きな変革をもたらす第一歩になると確信。万全の準備で執行を。賛成。

石井議員：藤代地区の防犯ステーション設置に予算計上。これまで子どもたちが安全で安心な生活を確保するため必要と提言してきたことで歓迎する。シティブロモーション事業は、各課から選ばれた職員によるプロジェクトチームが発足。市全体で取り組まれることで魅力発信に期待。賛成。

竹原議員：今後の財政運営に弾力性を持たせるため、各公共施設の整備改修に取り組まれ、未来に向けた備えができていると感じた。また平成28年度決算を踏まえた決議に対し、予算に反映されたことに最大の評価と敬意を表したい。賛成。



井野なないろ保育所完成イメージ図(2020年1月開所予定)
右記QRコードからPR動画がご覧になれます。



30年度特別会計予算(全7件)可決

加増議員：取手駅西口開発は、駅前が市民にとって快適に活用できる公的な場所として整備計画を見直し、歩道整備等の安全対策を優先すべき。

また、国民健康保険も後期高齢者医療保険も減免措置を受けている人が加入者の5割以上。寄り添った対応が求められる。

さらに、介護保険料値上げに反対。国に対し自治体の立場や主張を堅持すべき。

次に、競輪事業からは撤退し、スポーツ・文化施設への転換で、市民が楽しみ憩える施設となるよう県との協議を進めることを求める。

以上のことから取手駅西口・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・競輪事業特別会計予算に反対。

染谷議員：競輪事業の繰入金は今ままで市に多大な収入をもたらしており、平成29年度も増加した。競輪場もさまざまな催しが開かれ、2019年には国体で自転車競技が行われる。東日本大震災後、福島県の小学校での交流事業に競輪からの補助金が使われるなど、社会活動にも貢献している。競輪事業特別会計予算に賛成。

30年度予算以外の 市長提出議案

●非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正(家庭相談員、いじめ問題専門委員等の報酬・旅費を定めるもの)：可決

遠山議員：本来、学校現場で教師が心身両面にゆとりを持ち、子どもと向き合うことが最優先。反対。

池田議員：福祉の観点から、スクールソーシャルワーカーの配置や児童生徒を支援する専門職の雇用は大事なこと。賛成。

落合議員：昨今の現場の相談件数の増加や突発的な対応に際していくもの。適切かつ円滑な対応が図られることと期待。賛成。



家族連れでにぎわうサイクルアートフェスティバル(取手競輪場)